



©くもん子ども研究所

◎日・EU市民交流年記念シンポジウム

ひとは市民となり、まちのにぎわいを創り出す
——豊かさを共有するしくみとしての文化

2005年3月29日(火) 10:00 → 18:00

国際交流基金国際会議場(アーク森ビル20F)

主催=独立行政法人 国際交流基金(ジャパンファウンデーション)

千葉大学21世紀COEプログラム「持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点」

入場無料(日英同時通訳付、要事前予約)

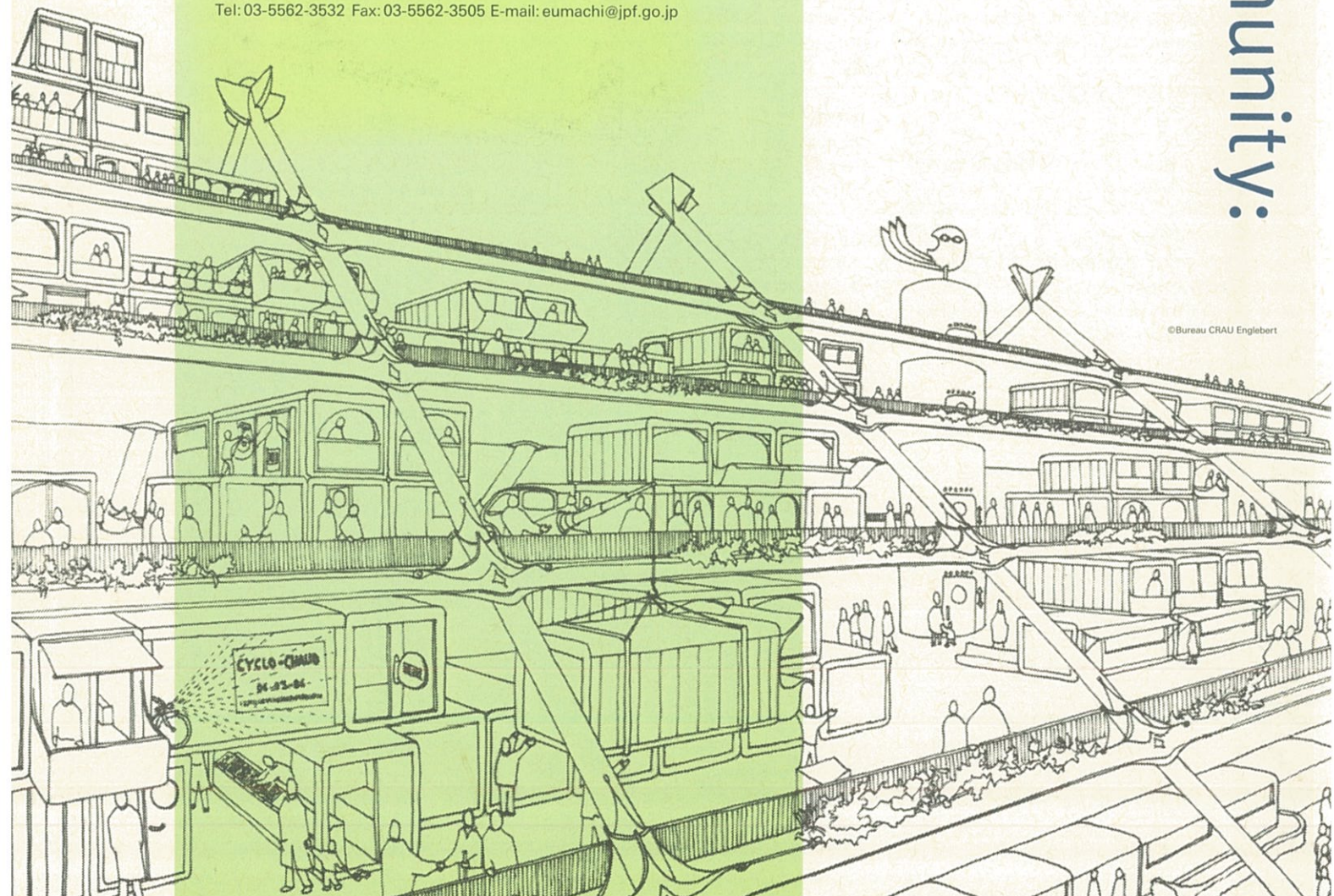
お問合せ・お申し込み=国際交流基金 文化事業部市民青少年交流課

Tel: 03-5562-3532 Fax: 03-5562-3505 E-mail: eumachi@jpf.go.jp

The Elan Vital of the Community: Individuals as Citizens

Culture: A System of Sharing Wealth and Life Values

©Bureau CRAU Englebert



The Elan Vital of the Community: Individuals as Citizens

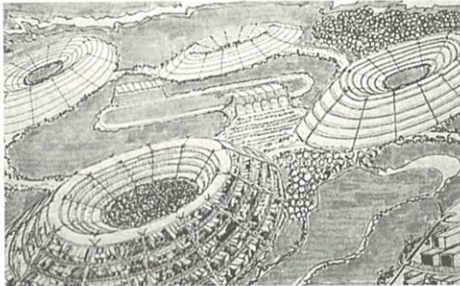
Culture: A System of Sharing Wealth and Life Values

◎日・EU市民交流年記念シンポジウム

ひとは市民となり、まちのにぎわいを創り出す
——豊かさを共有するしくみとしての文化



©くもん子ども研究所



©Bureau CRAU Englebert

◎日時・場所

2005年3月29日(火) 10:00—18:00

国際交流基金国際会議場(アーク森ビル20階)

◎主催

独立行政法人 国際交流基金(ジャパンファウンデーション)
千葉大学21世紀COEプログラム「持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点」

入場無料(日英同時通訳付、要事前予約)

◎プログラム

・第1セッション「ゆらぐ境界、ひろがる領域:そのとき市民は何に根ざし、どう行動するか」

岡部明子(コーディネーター)、ユッシ・ヤウヒアイネン(フィンランド)、エンリック・テリョ(スペイン)

・第2セッション「げんきな市民、にぎわうまち:コミュニティ活性化の仕掛け人たち」

エリザベス・ヴィシー(ハンガリー)、スチュワート・ノーブル(英国)、ヴィクトール・ウガルテ(スペイン)

・第3セッション「ボランティアなまちづくり:ひとりひとりの公共的市民が豊かさを持続させる」

倉阪秀史(コーディネーター)、参加者全員

*詳しい内容については<http://www.jpff.go.jp>もご覧下さい。

◎参加者プロフィール

◎ユッシ・ヤウヒアイネン

Jussi S. JAUHAINEN(フィンランド)

オウル大学教授(応用地理学・都市計画)。技術革新における社会的風土と環境の役割、創造的都市ネットワーク形成、都市計画における転換期のインパクトなどを精力的に取り上げ、都市計画・地域政策・産業ネットワーク・EU-北欧関係などの視点から150を超える学術論文を11か国語で執筆。主な論文に、「マルチポリス-技術・能力・地域開発の協働ネットワーク」、「フィンランドのまちと都市地域の成長と衰退への挑戦」、「タルトゥの教訓-ポスト・ポストモダンのランドスケープへ」など。

◎エンリック・テリョ

Enric TELLO(スペイン)

バルセロナ大学経済史学部教授(環境経済学、歴史経済学)。持続可能な環境と社会の発展、文化的景観の継承、EU域内の資源供給・経済成長・環境汚染の関係等を長期的歴史的観点から分析。カタルーニャ自治政府の水政策と緑化税制改革のアドヴァイザー。主な英語論文に「転換期にある地域のサステナビリティのための原理とツール」、「ゴミをなくす:素材のマネジメント」、「環境課税のシステムと新しい水文化」など。

◎エリザベス・ヴィシー

Elisabeth VISY(ハンガリー)

ハンガリー地域開発・タウンプランニング公社(VATI)シニア・コンサルタント。都市・地域研究部門プランナーとして都市と地域の持続可能な発展、経済・社会・環境の統合、地域開発における市民参加、EU域内の国際協力などを扱う。主な英語論文に「内陸都市部における都市政策への経済変動の影響」、「ハンガリーの地域政策」、「貧困への共闘」、「ハンガリー地域政策俯瞰」など。

◎ヴィクトール・ウガルテ

Victor UGARTE(スペイン)

バルセロナのカサ・アジア(アジアハウス)プログラム・資金調達部門長。教育・文化・経済部門の全プログラムを統括するとともに企業協賛、会員制度、国内アジア・コミュニティとの連携も担当。カサ・アジアはスペイン外務省・カタルーニャ自治政府・バルセロナ市共同体として2001年に設置された公的文化交流機関で、アジア・太平洋地域の文化、経済、教育の産学市民協働による総合的交流発展をめざし、展覧会、コンサート、映画上映、講演会・セミナー、語学教室、情報発信事業などを展開。

ニャ自治政府・バルセロナ市共同体として2001年に設置された公的文化交流機関で、アジア・太平洋地域の文化、経済、教育の産学市民協働による総合的交流発展をめざし、展覧会、コンサート、映画上映、講演会・セミナー、語学教室、情報発信事業などを展開。

◎スチュワート・ノーブル

Stewart NOBLE(英国・スコットランド)

レッツリング・スコットランド コンサルタント。地域通貨(Local Exchange Trading System, LETS)のスコットランドにおける指導的ディベロッパーとして地域財交換促進のワークショップやトレード・フェスティバルを実施。地域通貨を相互交換する全国レート「スコティアス」設定、会計・事務処理簡素化ソフトウェア開発、地域通貨運用のためのマニュアル制作などの活動を活発に展開。

◎倉阪秀史

Hidefumi KURASAKA

千葉大学経済学部総合政策学助教授(環境経済論、環境政策論)。千葉大学21世紀COEプログラム「持続可能な福祉社会に向けた公共研究拠点」公共政策担当サブリーダーとして、「成長を前提としない経済社会」としての持続可能な福祉社会への移行研究を推進。主な著書・論文に「環境を守るほど経済は発展する-ゴミを出さずにサービス売る経済学」、「エコロジカルな経済学」、「環境政策論」、「設計者責任原則試論」、「京都議定書発効と環境税のゆくえ」など。

◎岡部明子

Akiko OKABE

千葉大学工学部助教授(建築学、都市政策)、建築家。バルセロナの磯崎新アトリエ勤務を経て、スペイン及び日本でインテリアや住宅建築などのデザインを手がけるとともに、地域戦略やサステナブルシティをテーマに活発な言論活動を展開。主な著書・論文に「ユーロアーキテクツ」、「都市のルネッサンスを求めて-社会的共通資本としての都市」(共著)、「サステナブルシティ-EUの地域・環境戦略」、「エコタウンを旗印に環境まちづくりをリードする」、「アジア型コンパクトシティ」への提言」など。



【お問合せ・お申込み】国際交流基金文化事業部市民青少年交流課
〒107-6021 港区赤坂1-12-32 アーク森ビル20階
Tel: 03-5562-3532 Fax: 03-5562-3505
E-mail: eumachi@jpff.go.jp